

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	プレゼンテーションⅡ(CH)		(TCR201)
講義名（コード）	TCR_プレゼンテーションⅡ_C		(TCR201C)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	英語ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	塩見 知恵子	時間数	30
成績評価教員	塩見 知恵子	講義期間	秋学期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が就業後の課題遂行能力を高めるために、幅広くかつ抽象的な日本語の話題でやりとりができるようになる。
全体の内容と概要	1つのテーマに沿った文章を読み、深く理解し、他者と議論し、より深い理解につなげる。話す・書くなどの表現力を身につける。
授業時間外の学修	授業内容を復習する。
履修上の注意事項等	学生の希望等によりスケジュールは変更する場合がある。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	報告書を書くことができる	Unit 4 初めての仕事 7課 報告書を書く BJT聴読解
2	データをまとめることができる	Unit 4 初めての仕事 8課 データをまとめる BJT聴読解
3	日本のビジネス文化について自ら考えることができる④	Unit 4 初めての仕事 ケーススタディ 4 「例の」、「あれ」って何？ BJT聴読解
4	電話を取り次ぐことができる	Unit 5 電話対応 9課 電話を取り次ぐ BJT聴読解
5	伝言を受けることができる	Unit 5 電話対応 10課 伝言を受ける BJT聴読解
6	日本のビジネス文化について自ら考えることができる⑤	Unit 5 電話対応 ケーススタディ 5 「（さ）せていただく」の洪水？ BJT聴読解
7	社外のアポを取ることができる	Unit 6 社外の交渉 11課 アポを取る BJT聴読解
8	適切な表現で謝罪できる	Unit 6 社外の交渉 12課 謝罪をする BJT聴読解
9	日本のビジネス文化について自ら考えることができる⑥	Unit 6 社外の交渉 ケーススタディ 6 ダメならダメと早く言って！ BJT聴読解
10	社内での誘いを適切な表現で断ることができる	Unit 7 社内の交渉 13課 誘いを断る BJT聴読解
11	適切な表現で許可を得ることができる	Unit 7 社内の交渉 14課 許可を得る BJT聴読解
12	日本のビジネス文化について自ら考えることができる⑦	Unit 7 社内の交渉 ケーススタディ 7 10分遅れただけなのに BJT聴読解
13	秋学期の復習	復習 期末試験対策 BJT聴読解
14	期末試験	期末試験
15	期末試験解説	期末試験解説

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	ロールプレイで学ぶビジネス日本語
参考文献・資料等	BJT聴解・聴読解、学生手帳
備考	